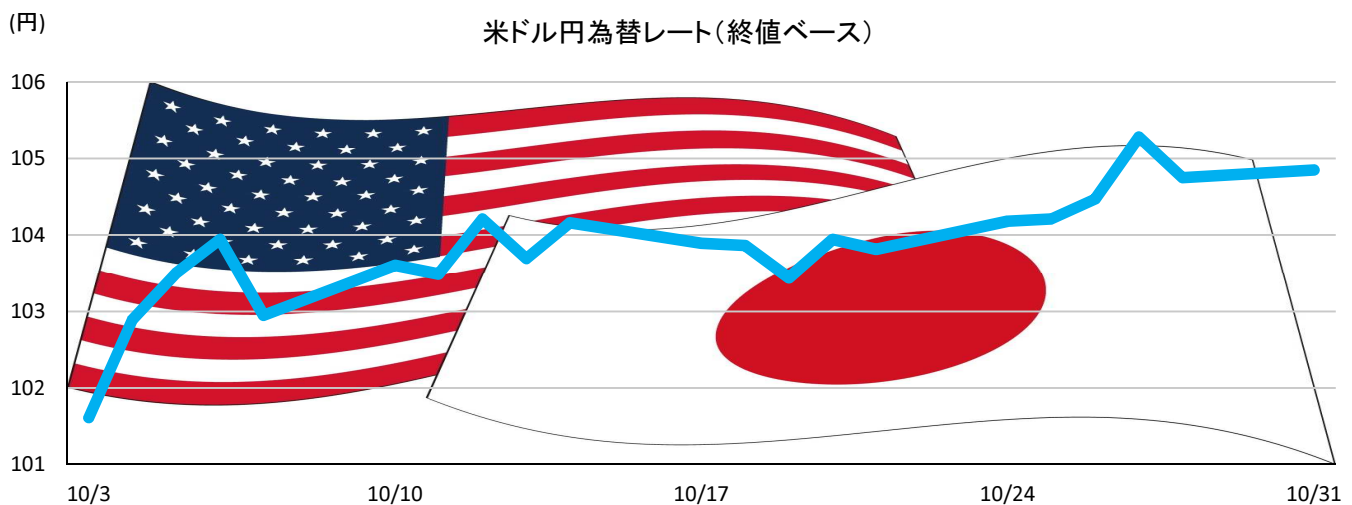


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 10月のドル円相場は、101円～105円半ばで推移。ドル円は100円割れを回避したこともあり巻き戻しのドル買いも散見されたが、米国大統領選挙において注目されるTV討論会を控えて一進一退の動きとなった。ただ第一回TV討論会後にクリントン氏が優勢と伝えられるとドル買いが加速することとなった。また英国のEU離脱交渉に絡む懸念からのポンド売りが継続したことでドル円の上値も重くなっていたが、英国のメイ首相がEU離脱プロセスをめぐる採決を議会で認める決定を行ったことがわかると一転ポンドが買戻されたこともありリスク回避の動きが収束。リスク選好の動きにドル円も追随することとなった。また米国利上げ期待感が徐々に高まってきていることも潜在的なドル高の流れを生み出しているといえるだろう。



EXTRA VISION

今後の展開: 米国の利上げ期待感や米国大統領選挙においてクリントン氏が優勢との報道も重なり、全体としてはドル高の流れが続いている。米国利上げに関しては12月が濃厚といわれているが、米国大統領選挙の結果次第でドル高ドル安とどちらにも転がる可能性が高いため予断を許さない。執筆時点では選挙結果は出ていないが10月末から徐々にトランプ氏が盛り返しつつあるようだ。トランプ氏が盛り返してきているとの情報から、それまでクリントン氏優勢との見方からドル高を演出してきた投資家のポジション解消のドル売りが見られ11月に入り円高ドル安が加速している。いずれにせよクリントン氏が勝てばドル高、トランプ氏が勝てばドル安とわかりやすいが、さてどのような結果となっているだろうか。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
11 / 14 (月)	8 : 50	J P	日本GDP速報値	☆☆☆☆
11 / 15 (火)	19 : 00	E U	欧州GDP改定値	☆☆☆☆
11 / 15 (火)	22 : 30	U S	小売売上高	☆☆☆☆
11 / 17 (木)	22 : 30	U S	消費者物価指数 (C P I)	☆☆☆☆
11 / 24 (木)	0 : 00	U S	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
11 / 29 (火)	22 : 30	U S	米国GDP速報値	☆☆☆☆
12 / 2 (金)	22 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆